

地域の
福祉

かけはし

第56号

2019年10月1日発行
 発行人：川辺清三
 編集責任者：横山 滋

福寿草の会は心の交流の場

「福寿草の会」とは65歳以上の一人暮らしの方々の会食（昼食）を中心にしたサロンで、会場は大山街道ふるさと館です。高津第一地区社会福祉協議会の年間主要行事の一つでほぼ隔月に開催、春と秋には「外に出よう」ということで、地域の老人会の皆さんとの歩こう会が催されます。開始以来もう190回を超えました。

手作りの昼食で和気あいあい

会食会は毎回40人内外の皆さんが参加され、これにスタッフも加わって全員で60～70名、和気あいの雰囲気が進みます。地区内の小・中学校の校長先生も参加され、学校の様子などを話されます。お世話する側のスタッフも皆さんの間に入り同じ食事をいただき談笑します。初めて参加された方もすぐに打ち解けられるようです。

食事は特別メニューを除けばスタッフの女性グループの手作りが中心です。会は毎回正午開始ですが、9時30分には集合し準備にかかります。材料は手分けして前日あるいは当日に用意。もちろんお米屋さんのお世話にもなります。厨房はあまり大きくないので少し苦労されているとのこと。男性グループは会場作りや配膳係を担当します。

メニューを紹介しましょう。5月16日（木）は、「肉じゃが 大根と厚揚げの味噌汁 はるさめの酢の物 パイナップル キウイ」。6月27日（木）は「カレーライス コールスローサラダ スイカ」でした。



第189回 絶好のお花見日和の歩こう会

七夕が近いことから笹竹にみんなで願い事を飾り、女性スタッフがそろって歌をご披露しました。伴奏は男性民生委員のバイオリンでした。



第190回 生伴奏でみんなで合唱

参加される方々からは「食事はおいしいですし何よりも皆さんとお話をしながら楽しい時間を過ごさせてもらい有難いことです」の声も聞かれます。

心の交流を大切に

こうして約1時間半の時間を過ごしますが、この会は一人暮らしの皆さん同士のふれあいのほかにスタッフとの心の交流の場として問題や要望をとらえる貴重な機会となっています。年2回の歩こう会とともに、当社協では皆さんの協力を得て出来るだけ長く続けていきたいと考えています。

この会についてこれまでご存知でなく、参加を希望される方がいらっしゃいましたらご遠慮なく地区担当民生委員又は事務局（高津第一地区社会福祉協議会（電話044-822-5500）までお問合せください。

第191回 楽しい会食会の始まり！



さまざまなアトラクション

毎回食事後にアトラクションがあります。5月には高津区役所管理栄養士さんのお話（脳トレクイズ 食事のバランスについて）があり、6月は

いま、学校では...

創立150周年を めざして

川崎市立高津小学校
校長 西村 勇一郎



日頃より高津第一地区社会福祉協議会・地域の皆様には、学校へのご理解とご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

高津第一社協の皆様には歴史ある地域への愛と誇りがあります。町内会や民生児童委員、主任児童委員、保護司、子ども会などの各団体の組織がしっかりとしています。これらの団体に支えられた高津第一社協の活動は素晴らしいと思います。敬老会、老人クラブ、区民祭、交通安全活動、社会を明るくする運動への協力や支援など、その幅広い活動は、地域になくてはならないものになっています。

世の中を騒がせる事件や事故が後を絶ちません。とくに登戸の事件は、教育現場に衝撃を与えました。どのように子どもたちの安全を守っていけばよいのか、安全対策はどうしたらよいのかなど悩みは尽きません。PTAや教職員で見守り活動を行うだけでは不十分で、地域の皆様の協力が必要です。あの事件の後には、間髪を入れずに声をかけていただき、パトロール活動を強化することができました。また、交通事故から子どもたちを守るためには、交通量の多い交差点や横断歩道などでの見守りが欠かせません。日頃から大変にお

地域の温かさに 見守られて

川崎市立久地小学校
校長 落合 隆



久地小学校は、「一人一人のよさと可能性を伸ばし、一人一人の多様性が響きあう学校」をめざし、児童数1041名、教職員数49名で2019年度をスタートしました。子どもたちが安心して楽しく学校生活を送ることができるよう全職員で力を合わせて教育活動を進めています。

さて、最近のニュースを見ていると相変わらず、

世話になっています。今後とも引き続きよろしくお願いたします。

本校は、令和4年度に創立150周年を迎えます。昨年度より準備が始まり、今年度から3年間、バザーが計画されています。今年は、11月16日(土)に行われます。バザーの準備を進め、3回のバザーを行いながら、150周年への思いや気持ちを高めていきたいと思ひます。

さらに、本校は今後の児童数増を見越して、新校舎が建設されます。現在は、空き教室が1つも無い状態です。来年度、再来年度は、校舎内に仮設の教室を設置し対応しますが、3年後には仮設の教室だけでは足りなくなってくる。今年の秋より約2年間をかけて正門の右手側に新校舎を建設します。また、職員室等の改修工事や全教室の空調関係の改修工事も同時に行われます。この2年間は、校庭が狭くなったり、特別教室棟の教室が使えない時期があったりするなど地域の皆様にも多大なるご迷惑をおかけすると思ひますが、ご理解ご協力をお願い申し上げます。工事終了後は、校庭が多少狭くなりますが、屋外トイレや倉庫など、使いやすいスペースが増えると思ひますので、ご期待ください。

本校もいろいろな意味で変革を強いられています。しかし、「不易と流行」ということを念頭に置き、歴史や伝統を大切に150周年を迎え、さらに新しい時代に向け、地域と共に歩む学校をめざして再スタートを切っていけたらと思ひます。これからもどうぞよろしくお願申し上げます。



交通事故や不審者情報など、子どもたちの安全を脅かす事案が発生しています。子どもの命を守る立場にある学校関係者としては、大変いたたまれない気持ちになります。その中で、久地小学校の地域・保護者の皆様には登下校の見守りをしていただき感謝しております。

子どもたちを見守るという点では、登下校中に「おはよう」「いってらっしゃい」「気をつけてね」「さようなら」「おかえりなさい」など、子どもたちにやさしく声をかけてくださる地域の方がいらっしゃいます。明るい笑顔の子どもたちをいつも見守ってくださることに感謝するとともに、温かい地域に育つ子どもたちをうらやましく思ひま



す。時々、いけないことをした子どもたちに、厳しいお叱りの言葉を頂くこともあります。子どもたちの行動はよい行動ばかりでは

ありません。よくない行動をしたときには、厳しく叱られなくてはいけないと思います。子どもたちが健全に成長していく為には必要なことで、地域の方の子どもを温かく見守る気持ちに感謝します。

学校の教育活動では、今年も子どもたちは町探検に出かけ、地域のようにすを調べました。なし畑の見学をさせていただいたり、事故や犯罪のない町づくりの

ようにすを探したりしました。町探検では保護者の方に引率ボランティアとして一緒に地域を歩いていただきました。また、地域の施設では、お話を聞かせていただいたり、トイレ休憩をさせていただいたり子どもたちの学習にご協力をいただきました。学校の教育活動は地域・保護者の皆様に支えられているなど実感した場面でもあります。そして、この地域学習がキャリア在り方生き方教育の心のよりどころとなる「ふるさと久地」「ふるさと川崎」への愛着心を育てることにつながり、自分の地域のよいところを見つけ、地域を愛する子どもたちになってほしいと願っています。

そのためにも、地域の皆様とのかかわりがとても大切になってきます。引き続き子どもたちの成長のようすを温かく見守っていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。



『西々堂々』

川崎市立西高津中学校
校長 小松 英光



表題の『西々堂々』は本校生徒の総意で決定した令和元年度の生徒会スローガンです。

本校は昭和32年4月、高津中学校より分離独立し、当時としてはモダンな赤レンガ造り校舎の中学校として創立しました。府

中街道に面して学校名の表札を掲げる赤レンガの柱は当時の姿を残しています。開校して間もない頃は教室不足から2部授業を実施したことや、自分たちの手で校庭を整備するなど、当時の苦労が記録に残っています。現在の校舎は平成3年度に建てられたものですが、今年度から来年度末にかけて大規模な修繕工事を実施します。

62年目を迎えた今年度は、特別支援級と各学年8クラス編成で899名の生徒と60名の教職員でスタートしました。開校以来続く学校教育目標に向かう伝統は、生徒たちの活動として脈々と引き継がれているように感じます。特に、ここ数年の本校生徒の諸活動への取組には目を見張るものがあります。

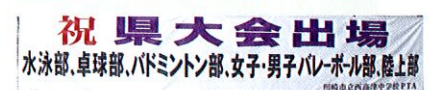
学校行事・委員会・学級・部活動等、どんな状況や場面でも全力を尽くし、学年を追うごとに生徒の成長が見て取れるような自主的・自治的な活動ぶりです。生徒会本部役員を中心とした委員会活動や部活動では大きな成果を上げています。文化部や委員会活動においては様々なコンクール・コンテストや発表会などで多数の入賞を果たして

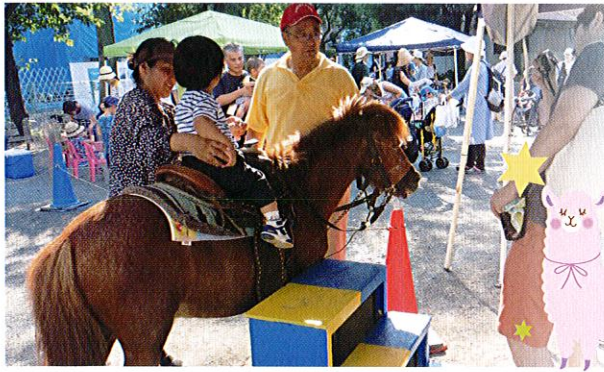
おり、運動部も市大会での優勝や県大会で上位入賞を飾り、関東・全国大会へと進むなど目覚ましい活躍を遂げています。そして校外の活動においても幅広い分野で素晴らしい活躍を見せてくれています。

これからも、一人ひとりの生徒が様々な課題に対して励まし・支え・相談し合いながら解決していく体験を積み重ね、成長し続ける生徒会活動であってほしいと願っています。

本校のピロティにはツバメが巣をつくります。ツバメが巣を作る家は縁起がよい、安全であると言います。今後も、家庭・地域・学校の「信頼関係」のもと、生徒が地域に対する誇りと愛着をもち、一人ひとりが安心して楽しく学び、お互いに高め合い成長できる学校を目指して努めて参ります。

地域の皆様におかれましては、社会情勢が複雑に目まぐるしく変化する昨今の状況の中、本校生徒を温かい目で見守って頂き感謝しております。ご心配をおかけすることも多々あると存じますが、生徒を育むご家庭と、地域で支えて頂く皆様と学校がより良い関係を築くことが出来るように、具体的な連携の持ち方を見直して参りたいと考えております。今後も本校の教育活動に対しまして、ご指導ご鞭撻とお力添えを頂けます様どうぞ宜しくお願い申し上げます。





移動動物園 がやってきた!



★をあげていました。ウサギ、ひよこ、モルモットはバスケットの中に入れて、子供達に渡され直にふれあっていました。

一番人気はポニーの乗馬体験で、順番待ちの長い行列ができました。ただカメはあまり動かないので、人気が無かったようです。

途中でジュースのサービスがあり、楽しい時間を過ごしました。夏休みの思い出となったことでしょう。



8月17日(土)午後3時から高津第一地区社会福祉協議会主催で動物ふれあい広場・移動動物園が行われました。会場は溝口南公園です。台風10号が去り、残暑のなか約700人の方々が来園し、元気に動物たちとふれあいました。

福田牧場(高津区新作)からウサギ、ひよこ、モルモット、カメや普段接することの少ない羊、ヤギ、ポニーが集まりました。

まずは会場作りです。スタッフが暑さの中、テントを張り、動物のエサ(キャベツと人参)を用意しました。その間広場に水まきをして暑さを和らげました。

開園時間が近づくと子供たちや保護者の方々もだんだん集まり、移動動物園の開園です。子供たちはスタッフからエサをもらい、ヤギや羊にエサ



高津区保護司会だより

7月28日(日)保護司会は、高津区民祭において図書館前にブースを設け、薬物乱用防止啓発活動を行いました。祭りに集う人々にチラシ等を配り、犯罪予防活動として薬物(大麻、覚醒剤、危険ドラッグ等)乱用防止を訴えました。

大山街道パレードでは、「ふれあいと対話が築く明るい社会」の横断幕を先頭に、ダルクの人達が、治療プログラムの一環として行っている“琉球太鼓”エイサーの演舞を行い、沿道の人々の声援を受けていました。



賑わった健康福祉まつり



7月6日(土)パルたかつで第30回高津区健康福祉まつりが開催され、1300名を超える来場者で賑わいました。高津区社協と子ども会、老人クラブ、障がい者協会などで構成する実行委員会が運営。会館入り口では、焼きそばやかき氷の出店、館内1階ではセラピーロボット「パロ」や介護ロボットが人気でした。2階ホールでは坂戸小合唱団や障がい者と健常者が一緒に歌とダンスをする「ダンスラボラトリー」が楽しいパフォーマンスを披露しました。

編集後記

児童生徒の安心安全な環境づくりは地域住民すべての願いです。学校任せにすることなく地域住民としてもどういう協力出来るか考えたいものです。特集記事の狙いです。(K)

編集委員 足立良雄・川辺洋一・小竹正美・佐野せつ子・本多栄治・望月正一・矢島真理子・横山滋・若林豊茂美

高津第一地区社会福祉協議会 事務局
高津区溝口1-6-10 てくのかわさき 3F
TEL. 044-812-1879 FAX. 044-612-3548